

令和2年度 実績

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団

兵庫県立こども発達支援センター

II 令和2年度 実績

1 診療実績

(1) 事前協議

受診希望者について市町窓口事前協議を実施し利用申込書を受け取る。

<月別事前協議件数>

	2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月	計
件数	18	14	15	29	26	34	35	24	31	28	30	27	311

※受診の有無に関わらず全件を掲載

<事前協議から初診までの日数>

日数	件数
～30日まで	130
31～60日	122
61～90日	16
91～150日	8
151～200日	2
200日以上	1
その他	12
計	291

(2) 医療機関からの紹介

令和2年度より医療機関からの患者の紹介を開始した。

	2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月	計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	7

(3) 利用患者数

	2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月	計
初診数	15	13	23	25	23	27	31	28	23	26	26	31	291
再診数	229	191	272	308	329	307	318	282	337	301	315	379	3,568
利用延数	244	204	295	333	352	334	349	310	360	327	341	410	3,859

(4) 初診患者内訳

初診患者に関する属性は下記の通りである。

<初診時年齢>

年齢	患者数
0歳	5
1歳	3
2歳	20
3歳	31
4歳	25
5歳	40
6歳	30
7歳	34
8歳	21
9歳	23
10歳	11
11歳	14
12歳	8
13歳	16
14歳	10
15歳以上	0
計	291

※0歳児5名、1歳児1名はダウン症児である。

<性別>

性別	患者数
男性	216
女性	75
計	291

<受診の目的>

受診の目的	患者数
診断を受けたい	130
療育を受けたい	10
診断と療育を受けたい	104
気になる症状がある	28
セカンドオピニオン	5
その他	14
計	291

<紹介市町>

市町	患者数
神戸市	6
姫路市	2
明石市	171
洲本市	1
相生市	1
加古川市	16
赤穂市	3
宝塚市	1
三木市	16
高砂市	5
小野市	3
丹波市	2
南あわじ市	1
淡路市	1
たつの市	1
稲美町	18
播磨町	26
市川町	4
福崎町	11
神河町	2
計	291

<診断>

発達障害に関連する主たる診断名
(ICD-10による分類)

疾患名	患者数	
PDD	55	19.0%
PDD+ADHD	10	3.4%
PDD+ADHD+MR	1	0.3%
PDD+ADHD+その他	1	0.3%
PDD+LD	4	1.4%
PDD+MR	21	7.2%
PDD+その他	18	6.2%
ADHD	18	6.2%
ADHD+LD	3	1.0%
ADHD+MR	1	0.3%
ADHD+その他	3	1.0%
LD	18	6.2%
LD+その他	4	1.4%
MR	35	12.1%
MR+その他	6	2.1%
その他	88	30.3%
評価中・未診断	4	1.4%
計	290	100.0%

※PDD：広汎性発達障害 (F84)

ADHD：注意欠陥多動性障害 (F90)

LD：学習能力の特異的発達障害 (F81)

MR：知的障害 (F70-74)

診断名が複数ある患者 78名 26.9%

知的障害の有無 (境界知能含む)

	患者数	
あり	149	51.4%
なし	141	48.6%
計	290	100.0%

「その他」の内訳 (重複あり)

	患者数
適応障害	1
境界知能	41
表出性言語障害	1
言語発達遅滞	12
場面緘黙	3
愛着障害	1
欠神てんかん	1
低出生体重児	22
極低出生体重児	1
超低出生体重児	3
全盲	1
聴覚過敏	1
先天性異常症候群	1
滑脳症	1
レックリングハウゼン病	1
結節性硬化症	1
ダウン症候群	6
協調運動障害	4
情緒障害	1
不登校	10
登校渋り	1
発達遅滞	3
全般性発達遅滞	10
社会コミュニケーション症	2
不注意	6
多動	1
発達凸凹	12
診断保留	2

(5) 保育実績

初めてセンターを訪れたこどもにまず保育士・支援員が出迎え、診察に同席し、こどもと個別で遊びながらこどもの特性を確認するために行動観察を行う。また、個別療育や集団コミュニケーション療法（別掲）では、各療法士と協働または保育単独で、こどもに合わせた遊びを工夫し発達を促す。

<診療>

	2年										3年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
初診陪席	14	11	18	16	11	8	15	15	13	9	14	12	156	
再診陪席	40	21	49	35	26	42	37	27	39	30	42	46	434	
計	54	32	67	51	37	50	52	42	52	39	56	58	590	

<療育>

	2年										3年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
作業+保育	1	1	1	1	2	1	0	1	1	2	2	1	14	
言語+保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保育のみ	2	1	3	2	5	3	4	3	3	3	4	4	37	
計	3	2	4	3	7	4	4	4	4	5	6	5	51	

<ダウン症児の赤ちゃん体操教室>

ダウン症児への早期介入を目的に日本ダウン症療育研究会認定赤ちゃん体操指導員による親子体操を実施した。低緊張のダウン症児の運動発達を促すとともに発達の特徴を理解することでこどもへの理解や愛着を深めることが目的である。

	2年										3年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
初診	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	
参加者	4	2	7	11	0	5	6	6	6	4	6	7	64	

(6) 心理実績

臨床心理士が心理検査を行い、こどもの発達の段階を客観的に確認し、支援の参考にする。面談では、具体的な対処法についてや、こどもの特性に対する理解を深めるために、本人や保護者と話し合う。また、必要に応じて、地域の園や学校と連携し、情報を共有してこどもへのバックアップを行う。

<心理検査数>

	2年									3年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
心理検査数	18	19	22	37	41	28	32	27	29	19	26	29	327

初診患者が発達検査を他機関で過去1年以内に実施済みである場合は、他機関で実施した検査を参考に当センター初診・再診時に陪席して行動観察を行い、評価を実施する。

<心理検査内訳>

		2年									3年			計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
発達	対面式	K式	8	10	16	23	14	14	7	13	14	8	11	11	149
		WISC	8	8	6	9	23	14	22	14	13	11	14	17	159
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	質問紙	津守	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
		その他	1	1	0	3	1	0	1	0	1	0	0	1	9
人格		0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
その他		1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	5	
計		18	19	22	37	41	28	32	27	29	19	26	29	327	

<うち再検査(再掲)>

	2年									3年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
K式	3	6	9	15	7	3	4	2	1	3	3	0	56
WISC	1	4	3	4	9	6	6	2	3	2	1	8	49
その他	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
再検査計	4	10	12	20	16	9	11	4	4	5	4	8	107
心理検査計	18	19	22	37	41	28	32	27	29	19	26	29	327

診療開始から1年が経過した平成25年度から、再検査を必要とする患者には半年～1年程度の期間を開けて再度、心理検査を実施した。

<心理検査以外>

		2年										3年			延人数	実人数
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
診察陪席		12	13	20	36	37	36	44	49	36	52	32	64	431	252	
こども支援	カウンセリング	4	2	1	1	2	2	4	2	5	4	4	2	33	6	
	他	1	2	4	2	1	1	1	1	1	2	0	3	19	16	
保護者支援	面接	2	1	0	3	1	2	1	1	2	0	3	2	18	9	
	電話	25	26	39	43	28	38	35	34	22	19	43	32	384	224	
地域連携	電話	2	3	19	21	6	13	10	6	5	13	11	13	122	57	
	会議	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3	3	

(7) 療育実績 (言語聴覚療法・作業療法)

言語聴覚士 (以下 ST) 、作業療法士 (以下 OT) は、年齢や障害の程度、ニーズなどに対応した個別のリハビリテーションプログラムに基づいて、療育を提供している。治療時間と頻度は、対象者の障害状況や年齢、家庭の状況などを配慮して設定される。こどもの持つ機能や能力を伸ばすための直接的な関わりに加え、保護者に対しては、こどもの特性の理解を深めたり日常生活での具体的な対応を助言している。

① 言語聴覚療法

療育評価では、国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査、質問-応答関係検査、学齢版言語・コミュニケーション発達スケール (LCSA) などの言語検査を実施し、こどもの言語能力とコミュニケーション力の評価を行っている。読み書きの苦手な児童には、小学生の読み書きスクリーニング検査を実施することもある。検査に乗りにくい乳幼児や検査の対象年齢を超えている児童には、あそびや会話を通して行動観察を行い、コミュニケーションスキルを評価している。

個別療育では、個々の課題に合わせたプログラムにより療育を実施している。主に、絵カードを用いた言語理解と表出を促す課題や、他者との関係を保ちながらコミュニケーション力を育むプレイセラピーを行っている。センターでの療育場面だけでなく、家庭や園でも取り組める課題や関わりの助言を積極的に行っている。

	2年										3年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
療育評価件数	10	8	15	13	8	10	15	14	14	16	17	17	168	
療育件数	50	48	57	45	58	64	61	55	67	67	65	67	704	
合計	60	53	72	59	66	76	86	70	81	83	82	84	872	

② 集団コミュニケーション療法

就学を控えた5歳児を対象に、こどもの困りごとによりクラスを編成し、STと保育士と支援員が担当して活動を行っている。集団コミュニケーション療法はそれぞれ1単位20分、1回の活動につき3単位で実施している。

目 的：小集団の中で同年代のこどもと一緒に活動することで、園や学校など集団場面で抱える問題点について評価する。また、活動を通して、他者に伝えることや尋ねること、他者と協力することなどを経験し、社会性の向上を図る。

期 間 ・ 回 数：こども1人ひとり個別に設定 概ね6回程度

頻 度 ・ 実 施 時 間：月1回、木曜日 9:30～10:30

構 成 人 数：3～5名

内 容：自己紹介、自由会話、着席活動、ルールのあるゲーム、共同制作

担 当 職 種：言語聴覚士、支援員

	2年			3年						計			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
集団療育件数	0	0	0	2	4	3	3	3	3	0	0	0	18

③ 作業療法

療育評価では、日本感覚インベントリー（JSI-R）、日本版感覚プロファイル（SP）、日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査（JMAP）、フロスティッグ視知覚発達検査、感覚処理・行為機能検査（JPAN）、機能的自立度評価表（WeeFIM）などを用いて、こどもの運動、感覚、生活動作を評価する。

運動は、歩く・座るなどの姿勢と運動、手の使い方、スキップや縄跳びなどの協調運動、運動企画、ボディイメージについて、感覚は、感覚の処理能力と知覚・認知能力について、生活スキルは、食事・着替えや排せつなどの生活動作を確認しながら、問題がある場合はその原因を明確にし、対応を検討する。

療育では、評価をもとに目標とプログラムを立案し、こどもへのセラピーだけでなく、生活環境や活動への介入を行う。

	2年			3年						計			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
療育評価件数	10	6	11	13	6	9	11	9	13	11	15	12	126
療育件数	57	46	63	72	78	73	81	76	88	92	96	101	923
合計	67	52	74	74	84	82	92	85	101	103	111	113	1049

2 事業実績

(1) 出張発達健康相談

センターへの来所が困難で、医師による発達障害の診断・療育をうける機会が少ない地域に、センターの職員が出向き、児童の発達にかかる健康相談を実施する。

- ①対象者：乳幼児から概ね 15 歳までの児童で、発達障害の疑いがある者、又は発達障害と診断された者で、発達、情緒・行動面等の問題において課題を抱えている者
- ②対象地域：県内全域
- ③事業内容：相談及びカウンセリングの実施
- ④派遣職種：医師、臨床心理士（以下 心理士）、保健師、支援員等
- ⑤実施方法：市町からの要望を集約し、市町と協議のうえ年間出張計画を策定し、実施
(費用は無料)

実施日	市町名	相談者数	派遣職種
2年9月15日	たつの市	3名	医師、心理士、保健師、支援員
9月23日	明石市	1名	医師、心理士
10月2日	加東市	2名	医師、保健師、作業療法士
10月20日	豊岡市	3名	医師、心理士、支援員、言語聴覚士
11月4日	豊岡市	3名	医師、心理士、支援員、言語聴覚士
12月1日	佐用町	2名	医師、心理士、支援員
3年2月2日	たつの市	4名	医師、心理士、保健師
3月5日	加西市	2名	医師、心理士、支援員
6市町(8回)		20名	

(2) 派遣発達支援（療育体制づくりの支援）

市町の要請に基づき、市町の療育体制を新しく整備する場合や現在の体制をより充実させる場合に、その計画や内容に対する助言等を行うため、センター職員を各市町に派遣し、療育体制づくりを支援する。

- ①対象地域：県内全域
- ②事業内容：市町の療育体制づくりへの支援、核となる支援機関への支援、派遣支援後の定期的なフォローアップ
- ③派遣職種：心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士等
- ④実施方法：派遣を希望する市町から協議を受け、契約を締結のうえ派遣

実施日	市町名	派遣職種
2年8月21日	宍粟市	作業療法士
9月15日	三木市	作業療法士
10月6日	三木市	作業療法士、心理士
10月8日	小野市	作業療法士
10月9日	三木市	作業療法士、心理士
10月29日	三木市	作業療法士、心理士
10月30日	養父市	作業療法士
11月4日	小野市	作業療法士
11月9日	小野市	作業療法士
11月17日	三木市	心理士
11月26日	三木市	作業療法士、心理士
3年2月8日	尼崎市	心理士

(3) 研修・情報提供等

こどもが成長発達する過程に携わる保健師や保育士、支援過程で関わる専門職の心理士、言語聴覚士等、支援者のスキルアップのため、センターの職員や外部専門家の特色を活かした研修を企画実施した。

- ①内 容：講義、実地研修
- ②対象者：保健師、保育士、支援員、心理士、言語聴覚士、作業療法士等
- ③講 師：こども発達支援センター職員
- ④経 費：受講者負担（こども発達支援センターの研修受講料等徴収要領による）

<基礎研修>

実施日	テーマ・内容	講師	参加者	場所
2年 9月 8日	[講義] 発達障害の基礎知識	医師、心理士、支援員	15名	センター
9月 14日			17名	
9月 28日	[実地研修] 療育場面見学 ふりかえり	心理士、作業療法士	3名	
9月 29日		心理士、作業療法士	3名	
10月 5日		心理士、言語聴覚士	2名	
10月 19日		支援員、作業療法士	3名	
10月 27日		心理士、言語聴覚士	2名	
11月 2日		支援員、作業療法士	3名	
11月 16日		心理士、言語聴覚士	2名	
11月 30日		支援員、作業療法士	3名	
12月 8日		心理士、言語聴覚士	3名	
12月 14日		支援員、作業療法士	2名	

※今年度の基礎研修は新型コロナウイルス感染症の影響で前期は実施せず、定員を限定して後期に2回実施した。

<スキルアップ研修>

実施日	テーマ・内容	参加者	場所
2年 9月 18日	「読み書きに苦手さのあるこどもへの支援」 講師：センター作業療法士、言語聴覚士	13名	センター
3年 1月 8日	「検査や評価から見えるこどもの姿 ～結果を支援に活かすために～」 講師：センター言語聴覚士、心理士	20名	
3月 9日	「低年齢のこどもの、身体を使った関わり遊び」 講師：センター作業療法士、心理士	18名	

<広報活動等>

情報提供としてインターネットホームページ (<http://hwc.or.jp/kodomohattatsu/>) の更新等により、発達障害について情報を発信するとともに、相談窓口の紹介を行う。

(4) 市町連携強化事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、市町及び関係機関との連絡会は実施しなかった。

(5) 家族交流支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、ペアレントメンターによる講演会ならびに相談会は実施しなかった。

(6) 教育連携

高砂市特別支援教育専門家チーム委員会

(7) 市町助言

市町	テーマ・内容
神戸市	療育ネットワーク会議にかかる指導・助言

<参考資料>

開設以降の市町・圏域別センター利用状況

※出張発達、派遣発達の◎は複数回利用市町

圏域	市町	初診患者 ※ () 内は R2 年度分	研修	出張発達	派遣発達
神戸	神戸市	122 (6)	○		
東播磨	明石市	1,178 (171)	○	○	
	加古川市	262 (16)	○		
	高砂市	142 (5)	○		
	稲美町	157 (18)	○		
	播磨町	187 (26)	○		
北播磨	西脇市	11 (0)	○	◎	
	三木市	175 (16)	○	◎	◎
	小野市	102 (3)	○	◎	◎
	加西市	4 (0)	○	◎	
	加東市	3 (0)	○	◎	
	多可町	2 (0)	○		
中播磨	姫路市	8 (2)	○		
	神河町	7 (2)	○	◎	
	市川町	9 (4)	○		
	福崎町	52 (11)	○		○
西播磨	相生市	4 (1)	○	○	
	たつの市	15 (1)	○	◎	◎
	赤穂市	13 (3)	○		
	宍粟市	1 (0)	○		◎
	太子町	1 (0)	○		
	上郡町	1 (0)	○		
	佐用町	0 (0)	○	◎	
淡路	洲本市	18 (1)	○		
	南あわじ市	7 (1)	○	◎	
	淡路市	10 (1)	○	○	
阪神北	伊丹市	1 (0)	○		
	宝塚市	2 (1)	○		
	川西市	4 (0)	○		○
	三田市	0 (0)	○	◎	
	猪名川町	3 (0)			
阪神南	尼崎市	9 (0)	○		◎
	西宮市	12 (0)	○		
	芦屋市	2 (0)	○		○
丹波	丹波篠山市	3 (0)	○	○	
	丹波市	8 (2)	○	○	
但馬	豊岡市	3 (0)	○	◎	
	養父市	1 (0)	○		◎
	朝来市	3 (0)	○	○	
	香美町	0 (0)	○		
	新温泉町	0 (0)			○
県外		1 (0)			
		2,543 (290)	39 市町	17 市町	10 市町

